国際ロータリークラブ第2530地区　県北第一分区

Rotary

週報 第23号

二本松
あだたらロータリークラブ

ロータリーは
世界をつなぐ
2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ

通算／第1241回　令和2年1月30日　会場／　二本松商工会議所

会　　長 安部 敏弘　副会長 佐藤 壮一郎　クラブ会報 菅野 秀夫
会長エレクト 宍戸 光英　幹　事 阿部 佳文

会長あいさつ

会長 安部 敏弘

昨年12月に中国湖北省武漢市で発生した新型コロナウィルスによる感染拡大が大きく報道されております。

感染者は、中国で約8,000人が感染し、死者は170人でほとんどが武漢地域ですが首都北京でも死者が出たとの事です。

日本では、7人が感染し、観光バスの60代男性運転手とツアーガイドの2名が人から人への感染で発症したとの事です。その他世界各国で感染者が出てきております。

昨日からは日本政府チャーター便で続々武漢市から帰国して感染拡大を防ぐために強制的にホテルに足止めされている様です。

このニュースが流れるたびに、感染がどんどん拡大してきている報道がされており、何か身近に危険が迫って来る様な恐怖を感じています。

わが社の社員3人も深センに出張中ですので、無事に帰れるか心配しておるところです。

これ以上拡大しないで、早く終息の方向に向かって欲しいことを祈るばかりです。

また、現地の人たちの物資不足、マスク不足などの報道もされていますので、何らかの形でロータリーも支援をしたいものであります。

話しは変わりますが、今年度も残すところあと5ヶ月となります。

今年度も是非ともロータリー賞にチャレンジしたいと思っております。

今年度のロータリー賞のテーマは「人びとをつなぐ」と「行動する」であります。

具体的必要項目は、

人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも5項目を達成

◎少なくとも5名の会員から成るクラブ会員増強委員会を設置し、その委員長を国際ロータリーに報告する。
◎会員１名の純増を達成する。
◎既存会員と新会員の維持率を維持または改善する。
・クラブの会員維持率を1ポイント上げる。　**または**
・2018-19年度のクラブの会員維持率が90%以上である場合、これを維持する。
◎女性会員または40歳以下の会員1名の純増を達成する。
◎会員の職業を調べるために職業分類調査を実施し、地域社会にあるビジネスと専門職の実情に沿った会員基盤を築くために活動する。
◎新しいロータリークラブまたはロータリー地域社会共同体のスポンサーまたは共同スポンサーとなる。
◎インターアクトクラブまたはローターアクトクラブを提唱または共同提唱する。
◎ロータリー学友のための行事を開催し、ロータリーでネットワークを広げる機会を紹介する。
◎青少年交換学生またはＲＹＬＡ参加者を派遣する。

行動する

以下のうち少なくとも5項目を達成

◎少なくとも5名の会員から成るクラブ財団委員会を設置し、その委員長を国際ロータリーに報告する。
◎奉仕プロジェクトに関与する会員数を増やす。
◎年次基金への会員一人当たりの平均寄付額が少なくとも100米ドルとなる。
◎ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
◎ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
◎クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）Rotary.orgに投稿する。
◎企業、政府団体、非政府団体とのパートナーシップを継続または確立し、プロジェクトで協力する。
◎ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告、資料、その他の関係資料を活用する。
◎クラブとロータリーの活動を伝えるためにクラブ会員がメディアと話す機会を手配する。

これらの項目で出来るところ5項目を達成して、ロータリー賞の栄誉をみんなで勝ち取りましょう！

本日のプログラム

報道機関との懇談会

2月のプログラム

第1242回例会：2月 6日(木)／第8回理事会
遊佐ガバナー補佐訪問日
第1243回例会：2月20日(木)／会員スピーチ

幹事報告

第8回理事会・遊佐ガバナー補佐訪問
◇2020年 2月 6日(木)
二本松商工会議所　於

●国際ロータリークラブ会長
マーク・ダニエル・マローニー

●国際ロータリー2530 地区ガバナー
芳賀　裕(福島中央RC)

●県北第一分区ガバナー補佐
遊佐　金一(二本松RC)

四つのテスト
言行はこれに照らしてから
一、真実かどうか
二、みんなに公平か
三、好意と友情を深めるか
四、みんなの為になるかどうか

創　　立 1993.6.30
承　　認 1993.9.10
認証状伝達式 1993.11.8
地 区 番 号 2530
クラブ番号 29750
例　会　日 毎週木曜日(12:30～13:30)

例 会 場 二本松商工会議所
事 務 局 〒964-8577
福島県二本松市本町 1-60-1
二本松商工会議所
Tel 0243-23-3211
Fax 0243-23-6677

二本松あだたら
週報 vol.23

報道機関との懇談会

本日のゲスト

福島民報社　　二本松支社　支社長　吉田 雄一様
福島民友新聞社 二本松支社　支社長　市村　晋　様

福島民報　福島民友新聞社

懇談会テーマ
① 『ロータリークラブの社会的認知度を上げるためには？』
② 『市内インターアクトクラブ設立に向けてのアプローチ方法』

2530地区目標として、「ロータリークラブの認知度と公共イメージ向上」が掲げられています。我がクラブとしても『あだたらロータリークラブ』の認知度を向上する活動が必要です。

そこで、年次計画書の年間プログラムには当初計画されていませんでしたが、県の２大新聞社の二本松支社の支社長をお招きし、情報発信の重要性や効果的な発信方法等についてアドバイスを頂きました。

また、安部会長が熱望している二本松RCと共同提唱によるインターアクトクラブ設立に向けての効果的アプローチについても助言を頂きました。

短時間ではありましたが、クラブにとってとても有意義な懇談会となりました。
両支社長に感謝いたします。

インターアクトクラブとは

○12歳から18歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブである。
　※ 高校に属さない「地域クラブ」として活動するクラブもある。
○奉仕の精神と国際理解を青少年（新世代）に付与するため設立され、提唱クラブは、指導・助言・監督の責任をもっている。
○奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で、相共に活動する機会を青少年に与えるために結成される。
○創立会員数は、最低15名となっているが、これは義務付けられているものではない。
○一つのＲＣまたは数クラブによって結成され、提唱され、かつ指導監督され、そしてガバナーによって確認された後、ＲＩの証明と承認を得て設立される。

Interact

ニコニコ BOX

にこにこ BOX　小委員長　根本 和行

安部 敏弘会員、阿部佳文会員、菅野守芳会員、齋藤敏夫会員
佐藤壮一郎会員、善方邦雄会員

＊米山記念寄与者･･･安部敏弘会員、善方邦雄会員

◇皆様の善意に感謝致します。ありがとうございました。

出席委員会　小委員長　根本　和行

会 員 数	本日出席	出 席 率	メイクアップ	修 正 率
35 名	18 名	51 %	7 名	71 %

ニコニコ BOX

目標額……500,000円
小　計 ……　6,000円
累　計……239,000円